

112 SR M. Oka.

Nº 694 BASTOS, 26 de JUNHO de 1963 O PROGRESSISTA REG. Nº 2695 São Paulo A. P.

バストス週報

第六九四号
昭和卅八年
七月廿六日
発行
DIRECTOR
KOITI MORI
REDATOR
SHION ODA
RUA PRES.
VARGAS 188
C. POST. 112
BASTOS
C. P.
ANUAL
CR. \$
500,00

幽遠 30

激励

吾々はバストスを丸坊主山にしてはならないと思つてゐる。移民の故郷として守り抜かねばならぬと思つてゐる。他の植民地とちがつて、往時の日本政府による日本の慰めがかつてゐるからである。だから吾々はがむしやりに愛郷愛土の歌をうたい、愛村興振の太鼓をたたきつづける。しかし自画自讃ばかりでなく時には誰かのバストスを観ききき、激励の声をきき、一層の奮闘を心がけたいと思ふ。去る七月十四日の夜、演芸場のマイクを通じサンパウロ日本文化協会々長山本喜登司氏から寄せられた祝辞を同協会の中理事が代読されたが、文章として読んで見ると更に味わいがあり、温かい言葉でバストスを激励される。原文を借用して次に掲げることとする。

晩秋の陽尚高く、爽涼の風丘を渡るとこの地に伝統と栄光に輝くバストス移住地の第三十五回入植祭が賑々しく開催されるに当り、我々日系移住者一同は満腔の祝意と敬意をお送り申上げるものであります。

皆さんはブラジル産業発展の黎明期に雄々しくこの地に移住され、人跡稀な原始の森を拓き、不自由と困難に耐え、立並ぶ墓標の数に涙をぬらしながらも驚嘆に値する今日の興隆期を迎えられました。そして日本民族の伝統と文化を培い、独自のなブラジル文化をここに築いて産業を興し、ブラジル国に貢献されてゐることは我々全日系移住者の高い誇りであり、心からの尊敬を表して止まないところであります。(五行前の方) 二に築いての次に日系人初めて、市長を生み多数有為の人材を世に送る外、茂多の新産業をおこして、と続く)

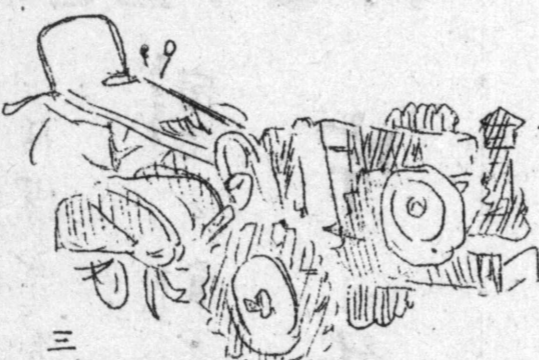
私は今日御来会の皆さんの顔に揺曳する永い開拓生活の哀歎、刻まれた深い皺に描いたその顔、うるんだその瞳は心に描いて、日系移住者産業文化の推進向上のために献身された植民者の方々、又中道で休めた先駆者の方々、家庭を盤石の安きにおいた婦人の方々に對し、いまも熱い感涙を禁ずることが出来ません。

ALFAIATARIA IMPERIAL



トバタ小型耕耘機
が何故もではやされるので
しようか

。精能がすばらしいからです。
。エンジンヤクタよりかるく、しかも
エンジンヤクタの何十倍、何百倍
の能率が上るからです。
。カマラータ二十六人分の仕事を
トバタ耕耘機一台でやつてのけ
ます。
。トバタ耕耘機はヌバコもすわな
いし休みたいとも云いません



TOBATA MICRO TRATOR

穴掘り
単刈り
中耕・除草
一台で何でも
できる
孝行ムスコ
今お求めになれば
三ヶ年のメンテナンス
が出ます

Sapataria Bastos

クツはドダグツ、ハイタイクツよ
クツはハイハイ、ハイヒール
てんから
きりまで
あるわいな
よくて安くて
長もちするは、ハヤカワの
ハヤカワのクツですたい、



早川クツ店

特に当移住地の指導者としてバストスのみならず、ブラジル全土の尊敬を集めておられる畑中仙次郎氏が多年の功業を認められ、日本政府から叙勲の沙汰を受けられたことは、この入植祭に錦上花を添えるものとして、その意義殊に深いものがある。私はこの席上をかりて皆様と共に、逆らう感謝と真心こめた拍手を送り、神の恩寵更に豊かならんことを祈念するものであります。

またこの移住地創設に際し、身体を賭して移住者の指導保護に当られ、ブラジルに於けるモテル移住地を建設し、やがて全日系移住者の産業構造を高く引上げ、その前途に明るい光明を掲げて下さったブラジル拓植組合幹部、従業員の皆様に対し、心からの御礼を申し上げます。サンパウロに於きましては、待望の文化センターが、本月末を以て完成する予定であります。この殿堂は全ブラジル日系移住者の心のよりどころであり、大自然と共々皆様への暖かい憩いの場所であり、また東西南北文化融合の切点であり、二十世紀科学文明の高峰に挑む子孫育成の機関であります。

われわれ文化協会理事会はこの建設に誠心誠意の御協力を頂いた皆さんの御負託に、応え健全な日本文化の媒体となるべき使命を果たそうとする信念に燃えております。文化は民族の力であり、世界に信頼と平和をつなぐ強力な鎖であります。サンパウロ御訪問の節は、どうかこの皆さんのセンターに御立寄りの上、その目的と事業にこの上ともの御指導御叱声を頼り、いしてやみません。

ではバストスの皆さん、今後一層御自愛の上、更に立派な産業をこの基盤の上に打ち立て、より多数の人材を育成し、悠久の山河ブラジルの大地に名門バストスの力量を十二分に発揮し、明るく一家の繁栄、一村の発展、やがては躍進ブラジルを推進する原動力となられんことを心から御祈り申し上げます。

この意義深い入植祭に当り一言所懐を述べて祝辞と致します。
一九六三年七月十三日
サンパウロ日伯文化協会
会長 山本 茂 啓 司

今を、ましがえた方におしらせ

去る十二日敬老会終了後、女用日今アツマリ、ニョ色のが、残っていました。ましがえて、黒色のを持ち帰られたもようです。心あたりの方は、とりかえにおいで下さい。

小茂田 吳服店まで

HOTEL RESTAURANTE 'USSAMI'

名物「鯉料理」



君と酌む
年の小鉢のあついで

土曜日の「フエジヨアータ」

おいしいお食事
清潔なお部屋

お泊りと食堂

宇佐美

Clario Ono Rinopolis C.P. 167

建築用硬質レンガ

品不足で御注文にまにあいかねて居り申訳けありませんでした。今はいか程で差上げます故御用命下さい。

バストス板垣ガソリンホストへ御申込み下されば、三千枚以上御届いたします。

小野レンガ工場

今年の花

人出も多かったが、演芸勸進元で取扱った「御花」の数もおびただしい数に上り、番号帳を見ると、一千八百に二つか三つ足りない位だったというから、すごい。この演芸会にも、花はつきものだが、バストスは、これが、おみ出して、逐年増加の一方、中味はどの位かと、専門家に伺いを立ててみると、「さあ中をのぞいたわけじゃないが、平均三百針位じゃないかね、でも中には一人で十針袋に入れて出した人もあるから、全部では大した金額になるだろうな、なるほど。」

御礼

去る七月十二日、十三日、十四日の三日間に亘って行われましてバストス入植世五週年祭演芸会当日の方々より勸進元に御花をいただきました。この御花は祭典特別会計に繰入れ祭典の諸経費に当てさせて戴きます。誠に有難うございました。
一九六三年七月十八日

バストス35周年祭 勸進元
御花統計六一〇〇〇〇也

- 御芳名ハサンパウロ
- 農田哲様 吉本茂様
 - 下元健三郎様 森部正一様
 - 岡本専太郎様 田中勇様
 - 古田真鍮様 落電作一様
 - 西川誠一様 市川イト様
 - 湯原有米吉様 木村久摩一様
 - バンデランテ組理事様 池田シマ様
 - 小田順介様 早川米次郎様
 - 田中幸一様 大井浩様
 - 西谷博様 石川豊様
 - 西谷博様 大山正様
 - 吉岡利信様 萩島博様
 - 新谷義治様 茅島博様
 - リンス白岩 我様 アカタナ木下初一様
 - マフコオ大橋マサエ様 マリア岩田茂代治様
 - サトス加治屋軍治様 セツリナ鴨原竹蔵様
 - 水馬久郎様 松村一郎様
 - 山中三郎様 西川統平様
 - 吉浦秀次郎様 西ヶ道信秀様
 - 内馬場七郎様 小林平志様
 - 佐藤かおる様 小倉一三男様
 - 梶田商店様 入江寛之助様
 - 貝岐保雄様 子削敬太様
 - 伊藤島義忠様 池田敬一様
 - 石田良一様 豊島喜一様
 - 川辺イサノ様 池田俊雄様
 - 遠藤常治様 西見吾市様
 - 大野英雄様 能見利八様
 - 百田道付様 久保田トキ様
 - 村正道行様 桑原久次郎様
 - 藤本栄治様 山根三郎様
 - 養鶏講習会員一同様 河根忠雄様
 - 前田幸一様

演芸場で拾いもの

男児用毛糸セーター 麗色新品
十四日夜届付、お気付の方はとりにおいで下さい。保管者 杉山眞蔵

鶴我総領事より戴いた 祝辞

当バストス移住地がブラジル拓植組合により一九二八年六月購入され、畑中仙次郎氏が支配人に就任、移住地の開拓が始められて今年がその三十五周年に当り盛大に入植祭を挙行されるに際し、お祝いの言葉を申述べる事が出来ずのは私の最も光栄に存するところであり、私当移住地は開設以来ブラチの手を商れるまで永統三十年畑中支配人の管理の下に統制ある経営が続けられ、地味の余り肥沃でないこの移住地が現在養鶏、養蚕、果樹栽培と多角営農のモデル移住地として今日の繁栄を礎されましたこと、入植者各位の熱心な研究と努力の賜と萬腔の敬意を表する次第であります。
殊に毎年の中行事であります入植祭には現入植者は勿論のこと退植者の諸氏もあまたかち自己の郷里の如く相集まり相和し盛大にこれを祝い、旧交を温めておられます。またサンパウロ市にバストス会を設立し移住地出身子弟の遊学の指導と後援を実施しておられますこと、ロニアには例の少い養わしいことであり、これは即ちバストス移住地であった方々の郷土愛の發露であると思存します。
本年の入植三十五周年に際し、本移住地の有ての親である畑中仙次郎氏に対し、日本政府から叙勲の沙汰に接されました。これは同氏永年の功績を認められたものでありまして、洵にお芽出度い次第であり、入植者の皆様とともに心からお慶び申し上げます。
今後益々当移住地の発展を望み入植者各位の御健斗を祈り、日但親善並にブラジル経済の進展に寄与されんことを希い私の祝辞といたします。
一九六三年七月十二日
サンパウロ総領事 鶴我七蔵

御礼

去る七月十日貴下御夫妻は世にも稀れなる金婚式を挙げられ、その記念として尤の金員を御寄贈になりました。ありがとうございました。多幸にお過ごなさいます様念上いたします。
一九六三年七月十八日

金二千クルセーロス也 中央区 言上
金二千クルセーロス也 中央区第四組より
小林金次郎翁 御夫妻様

口上

ハスト入植世五周年記念祭典に際し
我々のささやかな演芸を上演致しまし
た処、皆様方より過分なる御花を頂き
誠にありがとうございました。紙上を
以て厚く御礼申し上げます。

七月十八日 フラ拓演 藝部

聖市天野賢二様 山根剛様 山口秋子様 吉村一郎様 石川武雄様 佐藤巖様 境井啓視様 柳山茂平様 守藤実様 佐藤忠之助様 市川イト様 渡辺洗濯店様 呼島吉留様 能見利八様 前山商店様 橋元商店様 古沢商店様 重道商店様 田中聖様 上島照吉様 田結在武男様 中原菓子店様 河本忠雄様 西村和丈様 藤川一喜様 有馬重一様

山脇敏見様 西道様 平井武雄様 三武雄様 佐藤孝子様 関口ウメ様 和田春茂様 土井義弘様 早川靴店様 早川柳浦店様 川上彦夫様 倉本洗濯店様 梶田商店様 上田房宏様 宇都宮米子様 宮本幸次郎様 井口栄作様 小田健吉様 内館新太郎様 板垣薬局様 小茂田吳服店様 林一雄様 三鼓ウヰン様 魚名氏様 大久保健次郎様 安藤正子様 早川サトミ様 土井しげし様 相川清様

○踊りの部 へ下さった御花

淺本キミノ様 フト島本様 橋元てい様 梅津喜平様 岡田様 小田健吉様 重道商店様 原野小冬様 佐藤孝子様

ホシカン一箱 重道商店様 センベイ一袋 谷口秋子様 シンザ一袋 竹田幸道様 密柑一袋 海野幸道様 シンカリ

○竹内清一へ下さった御花

早川靴店様 内藤重太郎様 安藤正子様 佐藤日本人様 荒木イタクヨ様 武藤末吉様 吉原キクヨ様

○吉沢常雄へ下さった御花

重道商店様 内藤重太郎様 福森照夫様 藤川一喜様 生方清子様 内藤重太郎様 橋元てい様 荒木よし子様 上田房宏様

○宮本みわ子へ下さった御花

内藤重太郎様 戸田美容院様

○橋元千恵子へ下さった御花

リズ関しホエ様 堂前幸太郎様 竹内みどり様 安藤正子様 竹内郁子様 石橋敏子様 宇都宮いつ子様 岡村裁縫学校様 古沢和子様 渡辺すみ子様

○佐藤孝子へ下さった御花

古沢かみ子様 渡辺カツ子様 小林小久様 内藤重太郎様 結方晴夫様 足ト島本様 織田レグ様

○古谷フミ子へ下さった御花

古谷ミエ子様 古沢和子様

○武田栄吉へ下さった御花

安藤正子様 武田次郎三郎様 武田拓次様 原野小冬様 橋元てい様 生方清子様

○上原父子へ下さった御花

有馬佐保様 小谷昂一様 足ト島本様 内藤重太郎様 三浦巽様

○島本繁雄へ下さった御花

キタンタ古沢様 内藤重太郎様 佐藤日本人様 内藤重太郎様 入江寛之助様

橋元てい様 堂前幸太郎様 梶田商店様 橋元てい様 矢野俊平様 橋元てい様 藤川一喜様 板垣泰熊様 重道商店様 安藤正子様

浅田ミエ様 原野小冬様 岩崎サギ様 橋元てい様 味野トシ子様 石橋トシ子様 小田とよ子様 戸田ツイ子様 野島百合子様 新出菊文様 織田しづ様 内藤重太郎様 吉田キヨ子様 矢野安子様 原野小冬様 谷口秋子様

武田ハル子様 内藤重太郎様 武田ヨシ子様 戸田ツイ子様 佐藤日本人様 風間ミサ子様 早川靴店様 重道商店様 龜田百々子様 古川キタンタ様 伯光団様

丸山栄より御礼) 荒木イタクヨより御礼)

Mensagem

Ao ensejo do 35º Aniversario de Bastos e da já tradicional Festa do ovo que se comemora com a presença de nossos ilustres autoridades, congratulo-me com a gente ordeira e labroura desta terra, voltada para dinamização dos energios produtores, em prol da Economia nacional, fazendo votos que esta efemi e a Festa, seja mais um motivo de estímulo no sentido do Progresso

12 de Julho-1963

Dep. Diogo Nomura

5
フラタク 花のつぎ

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|------------------------------------|---------------------|---|-------------------------|-------------------------------------|-------------------|--------------------|----------------|-------------|------------------|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|-------------------|-------------------|------------------|------------------|-------------------|-------------------|--------------|--------------------|-------------------|------------------|-------------------|------------------|-------------------|
| 内藤重太郎 様
荒木夫人より御礼
(吉本ヨシ子より御礼)
(戸谷ミサ子より御礼) | 緒方晴夫 様
竹内かおるより御礼
(三浦及武田より御礼) | 岡田 様
(三浦及武田より御礼) | 古沢かす子 様
安藤正子及原野京子より御礼
(早川忠威より御礼)
(戸田ロザ、テレーサより御礼)
(長松オール、宮本みわ子、上原せしより御礼) | 谷口秋子 様
安藤正子及原野京子より御礼 | 上田幸音 様
重道商店 様
内藤重太郎 様
伯光 様 | 倉本洗濯店 様
重道商店 様 | 本田タネ子 様
内藤重太郎 様 | 梶田商店 様
伯光 様 | ○安藤正子へ下さる御花 | 原野小冬 様
武田栄吉 様 | 西村和夫 様
内藤重太郎 様 | 野島百合子 様
新出菊夫 様 | 堂前幸太郎 様
渡辺ミチ子 様 | 小田トヨ 様
宮都宮イツ子 様 | 鈴木マツノ 様
田川シズ 様 | 戸田ツイ子 様
古沢和子 様 | 草野氏子 様
橋元てい 様 | 増田駒一 様
織田しづ 様 | リネ閣しおえ 様
三浦巽 様 | 滋本キミノ 様
重道商店 様 | ○原野さみ子へ下さる御花 | 古谷みえ子 様
戸田ツイ子 様 | 安藤まさ子 様
西村和夫 様 | 草野多美子 様
清花子 様 | 内藤重太郎 様
橋元てい 様 | 織田しづ 様
佐藤孝子 様 | 松川キクノ 様
諸角興吉 様 |
|---|------------------------------------|---------------------|---|-------------------------|-------------------------------------|-------------------|--------------------|----------------|-------------|------------------|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|-------------------|-------------------|------------------|------------------|-------------------|-------------------|--------------|--------------------|-------------------|------------------|-------------------|------------------|-------------------|

- 上田幸音へ下さる御花
- | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|------------------|-------------------|------------------|------------------|-----------------|-------------------|-------------------|-------------------|------------------|-------------------|------------------|------------------|--------|
| 古沢かす子 様
安藤正子 様 | 竹内郁子 様
安藤正子 様 | 内藤重太郎 様
宮武勝甫 様 | 緒方晴夫 様
杉サカ子 様 | 田川スミ子 様
清辰美 様 | 三浦巽 様
西村和夫 様 | 橋元てい 様
内藤重太郎 様 | 草野氏子 様
戸田ツイ子 様 | 松川キクノ 様
織田しづ 様 | 佐藤孝子 様
武田栄吉 様 | 渡辺千ヨノ 様
安藤正子 様 | 前山商店 様
原野京子 様 | 古谷みえ子 様
清花子 様 | 諸角興吉 様 |
|-------------------|------------------|-------------------|------------------|------------------|-----------------|-------------------|-------------------|-------------------|------------------|-------------------|------------------|------------------|--------|

花の御礼

みなさんから踵の御花をいただきまして
てありがたうございませす

西 中 子

- | | | | | | |
|--------------------|-------------------|-------------------|--------------------|---------------|------------------|
| パール柳浦 様
吉田きよ子 様 | 板垣あさ子 様
小野菊枝 様 | 高田時計店 様
小沢将男 様 | 嶋原エミ子 様
エリナ古賀 様 | 伯光 様
奥田内 様 | 森下重雄 様
古田真鏡 様 |
|--------------------|-------------------|-------------------|--------------------|---------------|------------------|

たのしいにゆうしよくさい

フラタク 野中恵美子

七月十二日から十四日までたのしいに
ゆうしよくさいでした。わたしがバラスト
へきてから二どめのにゆうしよくさいでした
去年は、さたばかりでなにもわかりませ
んでした。ことしはおねいさんたちが
おどりと、うたに出来ました。みんな上手な
人たちがかりました。
十二月から十三日は、たまごまつりで、
しゆうとうりやうや日本のたいしさんが
こられ、大にぎわいでした。
バラストが、ききて三十五しゆうねんと
てもにきあいました。しはいのはきと
に行くと、もうみんなもうふやパンノを
して、あいていふところ、はありませんでし
た。やつとすわれたと思ったら、ほかの人
がきてとつてしまいました。ほかの人と
けんかしたりしてしまいました。
こうして三日のにゆうしよくさいをすご
しました。またらいねんも、ことしのよ
うに、にぎやかだといいなとおもいました。
しはいがはじまると、むちゆうたな
て時間のたつのもわからなくらいでし
ました。ほんとは、たのしいにゆうしよくさい
でした。

御 礼

過日行われまして入植祭当日記念演芸
会に出演しましたところ予想外の好評と
心からなる御声援を賜わり有難うござい
ました。又其節は多大なる御花を頂き厚
く御礼申上げます

七月十八日
バンデランテ区出演者 一同

- | | |
|--------|-----------|
| 水馬久 | 古沢商店 |
| 長友栄一 | シヤカラ寺岡 |
| 長友得枝 | 板垣薬局 |
| 米川勝雄 | 柳屋ハウロ |
| 細谷延伊 | 宇越ハナル |
| フット島本 | 清水長義 |
| 小茂田吳服店 | リオ溝口 |
| 三武雄 | 安斎成天 |
| 早川義雄 | グロリア坂口 |
| 柳浦義雄 | 水ロバール |
| 浅原義雄 | バンテランテ婦人会 |
| 梶田商店 | 小林小久 |
| 松井元三 | 能見利八 |
| 真木論吉 | 早川里美 |
| 重道商店 | 宇佐美ホテル |
| 三宅龜市 | 中原菓子店 |
| 西ヶ道信秀 | 前山商店 |
| 古田寫真館 | 相原貴余志 |
| 長友貞雄 | 諸角栄吉 |
| 上ヶ島照吉 | |

花の御礼

入植祭演芸会に出まして御花を頂きま
した。ありがとうございます。ごさいました。

七月十五日 星野恵美子

- | | |
|-------|--------|
| 長岡百合子 | 大久保みづ子 |
| 高田重利 | 納方時夫 |
| 長瀬幸子 | パール柳浦 |
| 林安子 | 杉フテ |
| 清子 | 伯光 |
| 輝子 | 荒木ヨシ子 |
| 三浦晴利 | 大河内勝三 |

御 礼

金五千クルセーロス也
イクレーシヤ建築御鞭撻とありて前
記金員御寄贈にあかりました。厚
く御礼申上げます

七月十五日

イクレーシヤ
建設委員会
假会計 太郎田 衛

前原辰代様

A V I S O

POR ORDEM DO SENHOR PREFEITO MUNICIPAL FAÇO
PÚBLICO QUE, EM 31 DO CORRENTE MÊS E ANO, TERMINA
PRAZO PARA O RECOLHIMENTO AOS CÔFRES MUNICIPAIS. DO
IMPOSTO-(PREDIAL URBANO E ANEXOS)-(2º SEMESTRE).

FINDO O REFERIDO PRAZO, O IMPOSTO SERÁ ACRÉSCIDO DA
MAJORAÇÃO DE 10% (DEIS PORCENTO), DE ACÔRDO COM A LEI
EM VIGOR.

Lançadora da Prefeitura Municipal de Bastos em
20 de Julho de 1963
Alguendo Paskakulis (Lançador Municipal)

バストス市内及周辺の家屋税 下半期 納税期限 七月卅一日限り
前納者、一引引。 市役所納税係

かれへちま

47

糸音

ざりきりまい

祭典行車をきりもりした委員会の諸公
おまつりがすんでほっと一息、互に顔を
見合せて、よくまあ家の事一切ほった
かしてあれだね。のことやれたもんや。お
れ、五キロ目減ったでエ。
自分の持ち場持ち場を、不平はあつても
口にせず、守り通して隙を見せなかつた
係りや役員達に敬意と感謝を表したい
ざりきりまいの忙しさの例として、こ
なのがある。十三日朝のこと。
大使総領事その他接待係、畑中氏邸で
朝の力左一がすみ、時間励行の大使は九
時の少半野球式に出掛けようと席を
立ち、皆そろそろと随行した。
総領事は午後の飛行機で帰郷の予定
向えの車を待つて居られた。畑中さん大
使を送り出して、応接室に来て見ると広い
サロンに総領事たかひと、ほつね人と
座って居られる。誰一人接待役も居ない
座、これはとんだ御無礼を、と畑中さんが
接待役に早替り、約一時間も、するの向
の車かやつて来て、総領事をバウル
飛行場まで送つて、いった、役員手か
す、総領事のこと、忘れてしまったわけ
いやないけれど。

御・礼の辞

このたび計らずも 天皇陛下より日本政府を通じ、勲五等瑞章を下賜せられ、去る七月十二日ブラ拓製糸会社サロンに於て、田付大使より御傳達下さいました。式場には鶴我総領事、宮坂南銀頭取、平田連邦議員、野村州議員、その他多数の方々の御列席を得て誠に晴れがましい雰囲気の中で数々の身に余る御祝辞を戴きましたこと、終生の喜びにて如何なる言葉を以ってしてもこの感激を表わすことは出来ない程の思いでありました。

承りますと瑞宝章などと申す勲章は国家に対する余程の功勞者でなければ御下賜にならず、且つ生前の拜受は容易ならぬものの由で、私如き者が敍勲を受けるのは余りにも恐懼の沙汰と存する次第であります。このたびの敍勲には大使総領事様方の御配慮は勿論の事、多くの方々の御力添えによるものですが、ひとえに、陛下の御鴻恩の御思召と感激するものであります。又この受章はコロニアバストスの構成に御協力下さった全植民者のかくれ力たによるもので、かりに私が代表として御預り申上げて居るように考えております。

共にバストス繁栄並に伯国の光榮ある前進のために微力を尽すことを御約束して一言御礼の辞といたします。

一九六三年七月十二日

畑 中 仙 次 郎

花の御礼

入植祭演芸会に出まして沢山お花を
いだけさありかとうございませした。

十月十六日 橋元 てるい

武田栄吉様 安藤まさ子様
田中シズ様 野島百合子様
週報社様 戸田ツイ子様
古谷みえ子様 重道商店様
高田重利様 原野小冬様
堂前幸太郎様 新出菊夫様
渡辺チトエ様 吉田きみえ様
池田シマ様 倉本洗濯店様
荒木キヨ子様 梅津大一小様
フット島本様 小田とよ子様

花の御礼

演芸会出演御花ありが御礼申上ます

高田重利様 渡辺なみ子様
戸田ツイ子様 豊島花一郎様
梶田商店様 清家瑞美様
川辺イサノ様 渡辺チトエ様
中央岡田様 高薄信子様

花の御礼

織田しづ

戸田源作様 渡辺しづ子様
重道商店様 橋元てい様
上田房宏様 淡てる代様
淡照代様 奥田内様
前山商店様 ナサキ薬局様
宇佐美美南子様 梶田商店様
宮武勝南様 佐藤様
佐藤孝子様 高田様
御存知より 西村和夫様
戸田キミエ様 吉田キミエ様
戸田ツイ子様 中原策一様
渡辺チトエ様 安藤マサ子様
遠藤常治様 淡砂子様
原野小冬様 工藤時枝様
本田タネ子様 池田シマ様
倉本洗濯店様 草原英雄様

入植祭俳句会

仙人掌社

憤り言葉とならず咳こめる 暁星
滝かれて水車の音も消えにけり 奇峯
群れ鳥の声よくさそへ 沼酒るる 寿和
白砂のまじる酒井のはねるべ 糸音
牛飼うて富者の余生 油草 米子
寂漠と過す日々なり水廻れる 律子

◎家賣ります

レンガ建七室(台所浴室共)

ロツテ 20m x 40m

場所 フレッシュセンターバルガス街ホリネス教
会上角より東へ二軒目

環境 付近は住宅街にて閑静です。
子供さん方の通学に至便の地

御希望の方は左記へ御訪ね下さい

バストス学園 矢野 まで

かれへちま っづき

突貫工事

限られた日限に夜を日についで完成す
ることを突貫工事という、と字書に出てい
るかどうかわからず、アヲ拓崎田さんの話によると
谷口氏住宅の二階を未築宿舎にする案は
大使総領事未訪が決定してから本決りと
なったもので、「設計図」にない階上を作
り、四室にサロン、階段浴室便所と追加
して一月でやれ、とおそそかな命令を
下した。無理は承知だ、だがどうしても
完成せねばならぬ。何が何んでもやらね
ばならぬと王将もときでかんはり、大使
領事の到着前日、階下はともかく階上御
帝舎だけは、ともかくにも仕上げたい
う、突貫工事の物語り。六月上旬の夜の
寒さ、手先も凍る思いをかんはったペレ
レ、口諸君の涙ぐましい昼夜兼行五日に及
ぶ苦勞談、おそまつなうまぐこれまで、

(上段よりつづく)

入植祭すんで我が家の広さかな 南天子

入植祭俄か作りの椰子並木 北眠

帰り来て野良着が匂う油草 勝甫

電エ又高掃子より咳こほし 菊子

拾装のまま立ち飲みす入植祭 扶美

沼酒れて一枚の小橋かな 水仙子

激流の過去も老に水廻るる ゆき子

魚鳴くや大アマツジの河酒れて 修水

水廻れしカッパの皿の干割して 孝子

油草べたつく牧に馬を遡う 羊鈴

野菜場の道になひきし油草 工藤

脂肪草次々たおし鶏舎建つ ちか子

鯉こくのおべり入植祭の各 三丘

干からひし釣瓶も縋し井戸酒るる 敏子

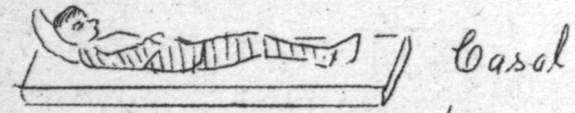
水廻れて冬の夕空を洗いけり はや

CASA RADIO

Casa -
Matriz
em Rancheira

Agencia Bastos Casa Miyatake

Colchão de Mola "Lidel"



カサール
コルション デモ-ラ / カザ-ダ

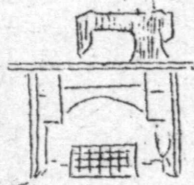
毎月 2.600 x 15 = 39.000

Liquidificador
"Super Arno"
リキジファイカド-ル



毎月 1.700,00 x 15月
= 25.500,00

ピアノ
"Schwartzman"



39.500,00 x 15 = 592.500

Climax ジェラテイラ

毎月 7.440 x 20月 = 148.800,00

フオゴン 各種あります

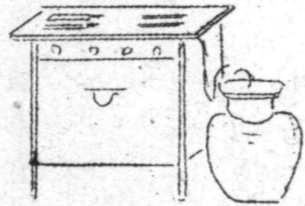
現金の節は大割引いたします

一度御来店下さい

Rua Adelman Barros

ラジオ修理店 宮武商店

Fogão "Daco"



高級フオゴン
タッコ印

毎月 4.333,30 x 15月
= 65.000,00

Enceradeira "ARNO"
エンセラテイテ

毎月 4.420,00 x 15月
= 66.300,00

maquina de costura
"シン「ビゴレ-リ」"

毎月 5.420,00 x 15月
= 81.300,00

ラジオ Telefunken テレフンケン

ト-メナ-テス ステレオ (最大)
毎月 35.450 x 15 = 631.750,00

バストス歌会報

入植三十五年を祝し併せて第百五十冊
歌会を記念して七月十五日週報社サロン
で俳句会合同にて賑々しく催した。
当日の作品中より一首ずつ

五月花 去年の如く咲き垂れて
又かえりくる 苦澁のおもひ
つきつめて何思ふなき老の日々
冬日に浸り猫に もの云う
耐え難き怒が衷に籠りいて
浅き眠りの 夢もいまわして
蘇る一つの 過失まつわりて
夜行列車の 汽笛が哀し
残さるる者の如く一途よて
古き女の 道 辿り行く
名のられて思ひ出せる人の手を
握りて冷し 街頭の 宵
良きにつけ悪しきにつけてわが歌の
素材となる子ら安らに眠る
やわらかき冬の日射しの縁先で
荒れし子の手に葉ぬりやる
煙引く野火眺めつつ黄昏の
車窓に寄りて一人旅行く
ふるさとに 帰れし 思い 靴裏に
歩めばしたレバ ストスの土
冬深みが ラス窓打つ 乾季風
位びさありて 七月の 寒し

扶美 菊子 勘一 忠雄 はやし 系子 きよ まりえ かほる 光春 孤舟

孝道展の大立華の前を去りがてに
佇つ 嬸らは 連水に急がれつ
疲れたる 頭腦重たく 未し 席に
歌友らの 声々なつかしく ひびく
ひかえ目に 日蔭に 咲ける 朝顔の
花を 支えて 細き 蔓伸ぶ
登校時 気になり 起せば 子ら二人
言ひ合すごと 頭も たゆる
掌にのこる アイリヨの 匂い 氣にしつ
一日 終えたる 日誌 書きおりに
ホイヤーの 牛群 避けて 桑畑に
佇ちつつ あれば 株の 芽 顕ち 来る
はらからの 声の 手紙を 聞く われに
うつつの 思い 父母の 声なく
暗やみを まさぐら われに ただ一つ
小きき 光 と もり 来る かも

勝南 羊鈴 南天子 千鶴子 寿和子 三丘 美津雄 律子

小林金次郎夫妻金婚式

中区第四組小林金次郎翁及夫人くま刀
自は去る七月十日 茂者 雄光 雅さん 遠息子
さん 主値で 金婚祝賀宴を 催した 翁の知
友二十人ほど 相会し 老いて 益々 元氣な 天
妻の 多幸を 祝した 結婚生活 五十年は 古
未稀れである バストスでも 偉か 三巴の
例あるのみである 小林家に 栄光あれ
五十年の 契り 目出度き 小春かな 糸音

七月廿六日(金)八時 廿七日(土)九時半 Como te chamam. Meu amor?

松竹大型 君の名は 佐田啓二 淡島千景 北原三枝 (第一部)

救寄屋橋から始まり北海道から九州まで全国にわたる雄大なスケールノ
幾多の流行と名所を生んだ史上最大のヒット作

七月廿八日(日)九時半 廿九日(月)八時 Uda Cor de Rosa

東宝スコパ 弥次比多道中 美空ひばり 東千代之介
江利チエミ

芝居の不足者 近眼のお君とあわて者のおとしか悪者ぐるみ牢へ入れられそれから旅に出
るとユカイな世界、唄いまくるひばりチエミのロマンスと夢が次から次へ、

七月三十日(火) 七月卅一日(水) 雨夜とも八時より Paixão de Uma Colegial

日活スコパ 若い人 石原裕次郎 小沢昭一 若い世代によびかける
カハラ 若い人 淡島千景 大坂志郎 愛と希望の巨篇ノ

天眞らんまんノ自由奔放ノ若き日の喜びと哀しみを明るく清らかに描く
雨と涙にぬれた明るい顔が明日に誓う 昭和37年度芸術祭参加作品

八月二日(金)八時 三日(土)九時半 COMOTEC HAMAS MEU AMOR?

松竹大型 君の名は (第二部) 佐田啓二 淡島 望月 川島多
第三部 岸 恵子 月丘 北原 市川

配役も、物語も、歌も、何か何まで日本一

東宝スコパ 旅愁の都 宝田明 淡路恵子 黛ひかる
天然色 星由里子 沢美枝 乙羽信子

東洋のハワイ夢の沖縄の夜にくりひろげる悲愁の大ロマン!

O Passado que não deixa amor

Aviso de Cine-Bastos

↓ について

PECÃ

クルミには種類が多いから

- 1 ブラジルの気候風土に適したものがよい
- 2 実生より接木がよい
- 3 収穫の多いものがよい

○クルミは大器晩成の樹である

- 1 今植えて明日金にはならぬ
- 2 子孫が父祖の愛を感謝する木である
- 3 三十米もの大木からクルミが毎日雨のようにパラ／＼と降ってくる。これを拾いあつめると、毎朝筆一はいになる

○クルミはうまいか?

- 1 そのまま食べて、コクのある実、脂肪分が多いから製油に適し、上等の菓子原料として販路が多い。
 - 2 クルミをたべていると、からだがあたたまり風邪をひかない、高血圧をさげる。
 - 3 淡白な味、滋養の多い果実、保存に耐える。
 - 4 こうはしい味と匂い、
- 一家に十本うえておけば、遊んでいて食べる時がくる、必ずくる……

ペカンの植付について

- 1 植付前に深耕する必要があり、根が深く且つ広がる木だから
 - 2 一米くらいの底に粗朶の敷二十キロ位入れる。堆肥の類。
 - 3 厩土だだ、伸びがおくれ、いちけりからその用心をする
 - 4 サウバに注意、幼樹の内はアリヨケをためておくこと、太つからは余り心配はない。
- せんでいは殆んど不要、木をまっすぐに育てること
- 尚 詳細は左記へ御問合せ下さい

奥田民蔵

御礼

- 金二千クルセルロス也 木内篤様
- 金一千クルセルロス也 西忠良様
- 墓地用 樹木苗 栢野益子様
- 墓地美装係 霜出 杉山